

自治労中央機関紙
発行所
全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円1年間900円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)



主な記事

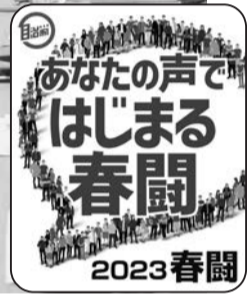
2・3面 中央委員会
4面 若新雄純と考えるイマドキ仕事観

いち35

第163回中央委員会

実質賃金低下を反転させ経済構造の転換へ

組合員の『声』集め 春闘期からの賃金要求を



新規加盟の25県本部・23単組・24評議会等の代表者らが登壇

自治労は1月30〜31日の2日間にわたり、第163回中央委員会を東京で開催し、2023春闘方針や4月の統一自治体選挙闘争を中心とする当面の闘争方針など、4議案を決定した。この中央委員会は3年ぶりに全中央委員が対面参加。新規加盟組合等の代表も登壇し、全体の出席者数は約380人となった。

議事1日目は、冒頭の川の不当労働行為に対する地本委員長あいさつ(要 労働闘争(山口)、次世代育(左)に続いて、一般経 育成の取り組みと共済集 過報告、2022 現業・公 の開催(愛知)、コロナ禍 企統一闘争総括(案)、第 26回参議院選挙闘争の総括 撤回闘争(京都)などの報 (案)、2023年度一般 告があり、全体でその意義 会計・特別会計中間決算報 告、監査報告を行った。

経過と総括案に関わる質 疑・討論では、8県本部8 (案)、第2号議案「当面 人の中央委員が発言。下水 の闘争方針(案)」、第3号 道の設計ミスの改修費用を 議案「2023年度一般会 職員員の賃金カットで補填さ 計・特別会計補正予算 せたことへの反対闘争(茨 (案)」、第4号議案「規程 城)、消滅単組の再建や社 の一部改正について(案)」 を提案し、質疑・討論を 参院選挙闘争の総括と日常活 行った(2、3面に議案と 動の強化の必要性(山形・ 佐賀・大分)、国保労組へ 2日目は、引き続き賃

委員長あいさつ
川本 淳
中央執行委員長

2023春闘の勝利で賃金を引き上げ 物価・賃金が好循環する社会に転換を

物価高騰などが国民生活を直撃し、実質賃金も減少し続ける中でスタートした2023春闘は、実質賃金の低下傾向を反転させ、物価と賃金的好循環を生み出す社会経済構造へと転換させるための重要な取り組みとなります。

公務員労働者の賃金は春闘では決まりませんが、秋の賃金確定闘争で勧告通りの給与改定にとどまらない賃金改善を勝ち取っていくためにも、春闘期から強い決意をもって

賃金要求を行います。また「公共サービスにもっと投資を！」キャンペーンを展開し、6月の人員確保闘争にむけて、春闘期からすべての単組が人員要求を行うとともに、全国で公共サービスを守るための人員と財源の確保を訴えます。

通常国会では、防衛力の強化と増額、原発再稼働・新増設が焦点となります。国民・国会を軽視し、独断的にこれを進めようとする岸田政権の

姿勢は、断じて許されません。立憲民主党には、政権を追い及ぶことを期待します。

4月には統一自治体選挙が行われます。自治体の政策、賃金・労働条件は議会で決まる以上、私たちは政治と無関係ではられません。自治労の政策を理解し連携できる議員を一人でも多く送り出さすため、「1自治体1協力議員」をめざし、全力で取り組みを進めましょう。

「くらしをまもり、未来をつくる」

連合 春季生活闘争がスタート
闘争開始宣言2・6中央総決起集会



3年ぶりに参加者が会場に集い(約700人)オンラインも含め約1400人が結集した

連合は2月6日、都内で「くらしをまもり、未来をつくる」をスローガンに2023春季生活闘争の開始を宣言する集会を開いた。主催者あいさつのほか、今闘争にかけたい思いを、ココカラファインユニオン(UAゼンセン)と東京航空計器労働組合(JAM)の代表者が表明。また連合北海道と連合長崎を中継で結び、各地の課題を共有した。賃上げを中心とする「人への投資」を起点として、働く者の能力・意欲向上、所得増をはかり、消費拡大を通じた経済の好循環を実現するとした宣言を採択した。

自治労2023春闘スケジュール

要求書提出ゾーン	2月7日(火)〜15日(水)
統一交渉ゾーン	3月13日(月)〜17日(金)
全国統一行動日	3月17日(金)

報告・総括

一般経過報告

2022自治体確定闘争中間総括案を含む

伊藤功書記長

自治体確定闘争は、要求書提出が100%の県本部は7県、労使交渉の実施が100%は7県。賃金・労働条件に関する事項は、必ず労使交渉・協議、合意に



藤森副委員長

粘り強い交渉の積み重ねで十数年ぶりの新規採用を勝ち取った単組があった一方で、各単組での取り組みには濃淡がある。すべての

より決定する」という労働組合の基本的な取り組みを継続する。また、11月下旬に会計年度任用職員に勤勉手当の支給を可能とする法改正にむけた組合員署名を総務省に提出した。引き続き取り組みを強化する。

第26回参議院選挙闘争の総括(案)

青木真理子副委員長

目標とした「組合員1人1票以上」はおろか最低獲得目標の30万票にも遠く及ばず厳しい結果となった。「鬼木まこと」を組合員一人ひとりに浸透させることができなかった。政治闘争だけでなく日頃からのオルグを積み重ね、声かけなど必ず直接のアプローチをするため、本部は県本部へのオルグを強化する。

2022現業・公企統一闘争総括(案)

藤森久次副委員長

粘り強い交渉の積み重ねで十数年ぶりの新規採用を勝ち取った単組があった一方で、各単組での取り組みには濃淡がある。すべての

第1号議案 2023春闘方針(案)

地域賃金相場の形成と底上げに全力をあげ人勧への流れ作る



伊藤書記長

春闘を年間闘争サイクルの確立にむけた「1年のたかひのスタート」としてだけでなく、組合活動の活性化、組織強化のための重要なたたかいと位置付け

物価高騰などが国民生活を直撃する中、賃金改善や中小企業の価格転嫁は進まず、新型コロナウイルス感染症の収束も見通せない。将来への不安は増大し続けている。このような情勢の中、物価上昇分にとまらない賃金水準の引き上げを実現することは、労働組合に対する社会的要請だ。自治労も地域の賃金相場の形成と底上げに全力をあげ、人事院勧告への流れを作る。

主な質疑・討論

第1号議案

単組・県本部に対し春闘要求をより明確化するよう求める意見(山形)をはじめ、定年延長職員と再任用職員の処遇の格差改善に関して意見(静岡)があった。

人事院報告の「給与制度の整備」について、これ以上の賃金水準の引き下げと地域間・世代間格差による分断をさせないたたかいを求める(新潟)をはじめ、地域手当の格差による人材



確保上の問題、特別交付税減額措置の廃止を求める声など(岩手・宮城・秋田・山形・新潟・長野・東京・神奈川・富山・香川・徳島・大分)があった。

人事院への要請署名など大衆行動を求める意見(新潟・徳島・大分)があった。中小の賃上げにむけて適正な価格転嫁を実現するため、各県本部が地方連合会と連携して「パートナーシップ構築宣言」の取り組み展開を求める意見(長野)があった。

子どもの年齢にかかわらず

組織強化、とくに新規採用者の組合加入の取り組みについて、キャッチコピーの考案、未加入者へのヒアリングや単組の取り組み事例の横展開などの要望(群馬)があった。

また、賃金合理化反対闘争勝利と組織強化・拡大を同時に達成した厚岸町職の好事例報告(北海道)、「組

員との丁寧な関わりを持ち続ける」重要性の発信(北海道)、さらに、高齢層及び役職定年者の組織化への意見・要望(香川・大分)があった。

企業の本を越えて労働条件の改善を実現する「労働協約の地域的拡張」の適用にむけた取り組み報告と支援要請(福岡)があった。

今国会に勤勉手当の支給に関する法案提出が見込まれる会計年度任用職員の課題については、厳しい現状の訴え(北海道)とともに、処遇改善にむけた取り組み

強化(東京・神奈川・長野・沖縄)、社会保険の扶養要件の見直しの議論状況(鹿児島)や情報発信のあり方(宮崎)について質問・意見があった。

地域医療の課題については、再編統合や経営形態の変更に対して医療提供体制の確保や賃金・労働条件を守るたたかいの報告や要望とともに組織拡大の重要性について(宮城・新潟・滋賀・和歌山)発言があった。



本年4月の統一自治体選挙の取り組みについては、必勝にむけた決意表明等が各県本部からあった。

中間決算での旅費の執行率が高い。本部財政が厳しい中、総合改革PTではどのような議論がされているのか(香川)。

第3号議案

第2号議案

第1号議案

第2号議案

第3号議案

第4号議案

第5号議案

第6号議案

第2号議案 当面の闘争方針(案)



青木副委員長

自治労組織の最大の課題と位置付ける組織強化の取り組みでは、第5次組織強化・拡大のための推進計画に基づき、単組活動の活性化、次代の担い手育成、新規採用者の組織化等に取り組み。

善にむけては、勤勉手当の支給を可能とする地方自治法改正案が第211回通常国会に提出される予定だ。本部は国会状況の情報発信に努め、単組は確実な支給にむけた労使協議を始める。

環境・平和・人権を確立する取り組みでは、憲法改悪の阻止と「安全保障3文書」反対、脱原発社会の実現など、幅広い連帯で運動の前進をめざす。政策実現にむけた政治活動の推進では、第20回統一自治体選挙における取り組みとして、「1自治体1協力議員」の実現をめざして、日常から政治闘争を意識した組合活動を追求する。

組織強化、会計年度任用職員の処遇改善、反戦・平和など提起

What's 自治労 あなたと労働組合の出会い

- 1 労働組合って何?
- 2 自治労って何?
- 3 賃金・労働条件のこと
- 4 社会と政治のこと
- 5 全国の仲間と出会える組合ネットワーク
- 6 用語解説

申し込みは

(株)自治労サービス・自治労出版センター

https://www.jichiro.gr.jp/press/

TEL 03-3263-2023 FAX 03-5213-5485



自治労総合企画総務局編 A5判 88頁 定価：¥500+税

江崎孝さんを労い、感謝する会

12年、支えてくれた皆さんに感謝したい



1月30日に昨年7月末まで自治労組織内参議院議員として2期12年の任期を務めた江崎孝さんを「労い、感謝する会」が都内で開かれた。会には枝野幸男前立憲民主党代表や衆参国會議員、自治労県本部役員や支援産別・団体の関係者が集い、12年の労をねぎらった。立憲民主党の結党当時の思い出などを振り返り、江崎さんは「改めて12年間支えてくださったすべての方々に感謝したい。ご出席がかなわなかった方々にもぜひこの想いを伝えていただきたい」とし、今後は「ふるさと柳川(福岡)を元気にするために頑張りたい」と語り、懐かしい面々と思い出を語りあった。

本部答弁

「給与制度の整備」への対応強化 「安保3文書」改定を許さず 統一自治体選挙闘争に全力

本部答弁 是正も重要課題だ。全単組で取り扱いを点検し、早期にむけ、こども家庭庁への

「給与制度の整備」について、中高年層の賃金水準の引き下げを阻止し、60歳以降のラスパイレース指数による公正な給与比較を求め、時機を見て大衆行動も含め取り組みを提起し、原資の確保も欠かさず対応したい。地域手当の近隣自治体間の格差がもたらす人材確保上の課題など、各地域の現状を集め、制度上の問題点を改めて訴えていく。各県本部の意見を踏まえ、人事院、総務省に対し積極的に反映するとともに、対応が後手に回らないように各段階でのそれぞれの考え方を明確にさせ、公務員連絡会に結集して取り組む。中途採用者の賃金格付け等促進する。保育士の配置基準の改善

第1号議案 「給与制度の整備」について、中高年層の賃金水準の引き下げを阻止し、60歳以降のラスパイレース指数による公正な給与比較を求め、時機を見て大衆行動も含め取り組みを提起し、原資の確保も欠かさず対応したい。



要請、組織内・協力国會議員と連携した国会対策を進める。男女平等職場の推進について、引き続き情報発信に努める。医療職全体の賃金改善にむけ、省庁・国会対策を行う。 第2号議案 新規採用者の組合加入について、キャッチコピーや事例等の情報収集・提供に取り組み。厚岸町職の取り組みは、合理化提案撤回という直接的な成果のみならず、組織強化・拡大の観点で極めて大きな成果だ。全体で学び今後の取り組みに活かす。高齢層や役職定年者の組織化は状況等を踏まえ、より具体的な方針や課題の共有に取り組む。



論内容を確認しながら取り組み。地域医療提供体制の確保は重要課題だ。省庁・国会対策を強め、現場課題を訴えるとともに情報提供など支援を行う。 平和を守るたかいは、携し対策を強化する。さらに、脱原発社会実現にむけ引き続き国会対策や原水禁など連携し取り組み。 統一自治体選挙闘争は、自治労の政策実現のため地方からしっかりと国を変えたい。引き続き多くの議員に

第3号議案 旅費の執行は、本部内のガバナンスを強化し適正なものとなるよう努めたい。



新規加盟レセプションで代表あいさつに立った皆さん

- ①新潟・新発田市職労非常勤職員協議会会長の飯田芳夫さん(※)
②兵庫・尼崎市社協労組委員長の青野克己さん
③山口・周防大島町病院事業局職労書記長の笹井幸枝さん
④福岡・若松競艇従業員労組書記長の岸本純子さん

自治労のつながりを力に 新規加盟組合歓迎レセプション

2020-2022年度 新規加盟組合

Table with 2 columns: 県本部 (Prefecture Branch) and 単組の名称 (Single Group Name). Lists new member organizations from various prefectures like Gunma, Tochigi, Saitama, etc.

自治労共済協 組合員の皆さまへ 団体生命共済 リニューアル キャンペーン. Includes details about a survey and prize draw, with images of a telescope and a solar battery.

福井県越前市 **発**！ 自治研オンラインセミナー 若新雄純と考えるイマドキ仕事観

必要なのはモラトリアム 日常に「挑発的遊戯」を

横井さん そういうのどんだん言ってるよな(笑)

波多野さん いいですね！

若新さん 定員割れの公務職場を人気にするために何か考えていくべき。仕事を果たせば、モラトリアム期間も得られるようにするなど若手職員に独自のメリットを持たせるなんてどう？



※「若新雄純と考えるイマドキ仕事観」自治研オンラインセミナー映像(1月14日実施)



交わす中で、自己と素直な考えを周囲と共有し、自分自身の「挑発的遊戯」を歓迎する場となって若い職員に伝えていきたい。積極的に固定観念を崩すことが大切と感じた」と話した。

「日々の中で『挑発的遊戯(社会に対して何か挑発的なことをして遊んでみることに)』の実践が必要。『おしゃべり』はその一つで自分の素直な考えを周囲と共有し、自分自身の「挑発的遊戯」を歓迎する場となって若い職員に伝えていきたい。積極的に固定観念を崩すことが大切と感じた」と話した。

自治労は1月14日、福井県越前市で「若新雄純と考えるイマドキ仕事観」と題したオンラインセミナーを行い、市の中心街に位置する正覚寺を配信会場に、約80人がオンラインで参加した。

セミナーは「月刊自治研」1月号(特集:若き自治体職員とともに)に掲載された「若新雄純のお悩み相談室『自治体職員が働き続けるために』との連動企画。メインスピーカーに若新さんを招き、地元から丹南市民自治研究センター理事の波多野翼さん(越前市職)と横井直人さん(鯖江市職)がホストを務めた。

セミナーは「月刊自治研」1月号(特集:若き自治体職員とともに)に掲載された「若新雄純のお悩み相談室『自治体職員が働き続けるために』との連動企画。メインスピーカーに若新さんを招き、地元から丹南市民自治研究センター理事の波多野翼さん(越前市職)と横井直人さん(鯖江市職)がホストを務めた。

セミナーは「月刊自治研」1月号(特集:若き自治体職員とともに)に掲載された「若新雄純のお悩み相談室『自治体職員が働き続けるために』との連動企画。メインスピーカーに若新さんを招き、地元から丹南市民自治研究センター理事の波多野翼さん(越前市職)と横井直人さん(鯖江市職)がホストを務めた。



若新雄純さん
プロデューサー/株式会社NEWYOU TH代表取締役など。福井県鯖江市の「JK課(2014年に始まった市民協働推進プロジェクト)」などの実験的企画をプロデュース。福井県若狭町出身。



「善光寺通り」から正覚寺の境内を臨む



必要事項を記入して添付してください。応募は県本部にあります。賞金は(1)(2)とも入選5万円、佳作2万円、努力賞1万円です。審査結果は8月の機関紙「じちろう」紙上で発表予定です。

「うちの加入説明会を見に来ないか」そんなとき、隣の石巻市職から説明をして加入してもらっていました。加入届も後日回収になったものも多かった。組織率の高い単組の取り組みを実際に見て、学んだのは大きな意味があった」と佐々木さんは言う。

今年の採用予定数は38人。「早い時期に簡潔な加入説明」という、前年の取り組みを定着させていきたい」と、佐々木さんは意気込む。

近隣単組の方法に学び 加入呼びかけを前倒し

コロナ禍の影響もあり、加入実績が低迷していた宮城・登米市職。そんな時、見せてもらった近隣単組の手法がヒントになって、加入を伸ばすきっかけをつかんだ。効果的な加入促進の手法を、単組を越えて積極的に学びあうことの大切さがわかる。

登米市は宮城県の北部に位置し、登米郡8町と本吉郡津山町の合併によって2005年に誕生した。人口は7万5000人。組合員数は479人で、正規職員の組織率は45.8%(2021年6月)。9町の合併時点では3町が組合未組織。当初は組合員が多数派だったが、全体の人員縮小に伴い組合員数も減少が続いてきた。

新規採用職員の加入率は、2018年・2019年は91.9%であったところ、2021年には35.3%に急落。2020年と2021年はコロナ禍のため、新規採用職員歓迎会と、そこの加入呼びかけができなかったためだ。

そんなとき、隣の石巻市職から「うちの加入説明会を見に来ないか」という声をもらった。加入届も後日回収になったものも多かった。組織率の高い単組の取り組みを実際に見て、学んだのは大きな意味があった」と佐々木さんは言う。

今年の採用予定数は38人。「早い時期に簡潔な加入説明」という、前年の取り組みを定着させていきたい」と、佐々木さんは意気込む。

仲間になろうよ

新規採用者の加入にむけて
③宮城・登米市職

2023

近隣単組の方法に学び 加入呼びかけを前倒し

コロナ禍の影響もあり、加入実績が低迷していた宮城・登米市職。そんな時、見せてもらった近隣単組の手法がヒントになって、加入を伸ばすきっかけをつかんだ。効果的な加入促進の手法を、単組を越えて積極的に学びあうことの大切さがわかる。

仲間になろうよ

新規採用者の加入にむけて
③宮城・登米市職

2023

第22回 機関紙コンクール

●参加対象および区分
自治労の県本部、単組、支部、分会および評議会等で発行される機関紙を下記の区分で募集します。

(1) 自作の部(パソコン・手書き新聞)
(2) 外注の部

●応募方法
2023年1月から5月末に発行した機関紙の中から、
★旬刊、月刊の場合は連続3号分
★週2回刊、週刊の場合は連続5号分
★日刊(週3回以上)の場合は連続10号分

をセットにして応募してください。また、応募票に必要事項を記入して添付してください。応募票は県本部にあります。賞金は(1)(2)とも入選5万円、佳作2万円、努力賞1万円です。審査結果は8月の機関紙「じちろう」紙上で発表予定です。

●締切 6月30日(金)必着とします。

●応募先 〒102-8464 東京都千代田区六番町1
自治労総合企画総務局「機関紙コンクール」係

大募集

ろうきんって何? の巻

だから 2022.04 ①1/8

はたらく仲間が
お互いを助けあうために
つくった金融機関

ろうきんなら、あなたに合った商品・サービスや、
資産形成のコツも教えてくれるよ!